

応用生物学委員会（第21期・第3回）議事要旨

日時：平成21年4月8日（水）14:00～16:00

場所：日本学術会議6階 6-A（2）会議室

出席者：鷺谷いづみ委員長、北里洋委員、西田治文委員、長谷川寿一委員、長谷川真理子委員、美宅成樹委員、斎藤成也副委員長、小川事務官

特別出席者：環境省自然環境局自然環境計画課 渡辺綱男課長・堀内室長補佐

欠席者：今中忠行委員、松本忠夫委員

議事

- (1) 前回議事要旨案を承認した。
- (2) 本委員会の名称「応用生物学委員会」を、「統合生物学委員会」に改称する案を4月6日の第二部会で提案し、了承された。今後、5月の幹事会で承認されれば、10月の総会に提案することになる。
- (3) 本委員会委員の自己紹介
- (4) 学術の大型研究計画検討分科会とアンケートを各委員に紹介した。
- (5) 自然環境保全再生分科会（委員長は鷺谷いづみ第2部会員）との関係について協議した。環境学委員会に所属している分科会であるが、本委員会も親委員会となる形で関連を持ちたい。了承されたので、関係する委員会、部と相談をすすめた上で幹事会に提案する。
- (6) サイエンスアゴラでシンポジウム「統合生物学のめざすもの（案）」を本委員会で主催することについて議論した。
鷺谷委員長が司会をして、各委員が講演をする。委員以外の会員あるいは連携会員の講演をお願いすることも可能であろう。
日程としては、アゴラ初日の10月31日（土）午後を予定した。
- (7) 西暦2010年10月に日本（名古屋市）で開催される、生物多様性条約(CBD = Convention of Biological Diversity)第10回締結国会議（COP10）との連携について議論した。具体的なプランとして次の3つが了承された。
 - サイエンスアゴラのシンポジウムでは「生物多様性の理解を深める科学」としての統合生物学をアピールする形で生物多様性をもう一つのキーワードとする。
 - 統合生物学の立場から生物多様性にかかわる理念、政策、科学に関する提言をとりまとめ2010年5月22日（国際生物多様性年、生物多様性の日）に公表する。
 - 学術会議が毎年主催している「持続可能な科学と技術のための国際会議」2010年のテーマをCOP10での科学関連の議題と関連させたテーマとして実施することを提案し、委員会として積極的に企画にかかわる。

以上